

# 授業科目 精神保健看護学実習

【担当教員名】  西川 薫 他		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎			○		
【概要・一般目標：G10】 心を病む人々と関わることを通じて対象への理解を深め、さらに、自己洞察する能力を養う。患者―看護者関係における治療的意味、精神科における看護の方法と役割を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 心を病む人々への理解を深める。 2. 患者―看護者関係における治療的意味を理解する。 3. 心を病む人々の援助の方法を考え、実施することができる。 4. 集団におけるチームワークを考える。 5. 心を病む人々をとり巻く環境について理解を深める。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	1. 学内オリエンテーション 2. 病院・病棟オリエンテーション 3. 病棟実習（約2週間） 1) 患者に関心を寄せることができる。 2) 精神症状を把握し、それらが生活に及ぼす影響を理解できる。 3) 患者が歩んできた人生を想像し、現在の状況を想像しながら関わる。 4) 患者の生活を観察し、健康な部分を理解し働きかける。 5) 患者―看護者関係の段階（開始、発展、終結）を意識しながら関わる。 6) 病院における専門職の連携について学ぶ。 7) デイケア実習をとして地域生活支援について学ぶ。 8) プロセスレコードの検討 9) ケース検討会の実施 10) 援助の方向性を所定の記録用紙に整理する。 11) 実施した援助の評価 4. 実習のまとめ			1-6 1-6 1 2 2 2,3 1-4 4,5 4,5 1-6 1-6 1-6 1-6 1-6	実習病院のオリエンテーション (看護部長等をお迎えして)
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	精神看護臨地実習 精神看護学	日本精神科看護技術協会監 田中美恵子編	中央法規出版 医歯薬出版	2007・1,800円＋税 2001・2,400円＋税	
その他の資料					
【評価方法】 レポート・・・・・・・・・・20% 目標達成度の評価ならびに出席状況・・80%		【履修上の留意点】			